

議長のお許しをいただきましたので、町政の諸般についてご報告を申し上げます。

始めに、平成 23 年度の決算であります。

詳細につきましては、認定議案として提案の折に、各担当から説明させていただきますので、私からは概要のみをご報告申し上げます。

まず、一般会計であります。

歳入が 138 億 3,061 万 3 千円、歳出が 128 億 1,990 万 2 千円で、差し引き 10 億 1,071 万 1 千円の形式収支となりました。

このうち、翌年度へ繰り越すべき財源が、3,731 万 3 千円ありますので、実質収支は 9 億 7,339 万 8 千円であります。

地方自治法並びに条例の規定により、このうち 6 億 5 千万円を財政調整基金に積み立て、残りの 3 億 2 千万円余を 24 年度に繰越しいたしました。

次に、特別会計であります。

まず、国民健康保険事業特別会計は、歳入が 40 億 6,526 万 5 千円、歳出が 38 億 1,728 万 8 千円で、差引き 2 億 4,797 万 7 千円であります。

後期高齢者医療特別会計は、歳入が 3 億 1,749 万 3 千円、歳出が 3 億 1,645 万 4 千円で、差引き 103 万 9 千円あります。

次に、介護保険事業特別会計は、歳入が 20 億 2,926 万 9 千円、歳出が 20 億 1,341 万 3 千円で、差引き 1,585 万 6 千円あります。

農業集落排水事業特別会計は、歳入歳出ともに 5,730 万 4 千円あります。

下水道事業特別会計は、歳入歳出ともに 15 億 8,293 万 9 千円あります。

水道事業会計は、収益的収入額が7億1,312万1千円、支出額が6億9,761万5千円で、差引き1,550万6千円であります。この額から消費税を差引きますと、1,436万3千円の純利益となりました。

一方、資本的収入額は、1,604万2千円、支出額は9,913万2千円で、差引き8,309万円の不足となりまして、損益勘定留保資金等で補填をしております。

以上の各会計の決算につきましては、過日、監査委員に審査をいただいております。

その意見を付し、さらに決算説明書として主要施策報告書を添えて、本定例会に認定議案として提出し、ご審議をいただくこととしておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、本年度の財政状況であります。

まず、7月末の調定状況から推測した歳入見通しであります。

町税のうち、町民税につきましては、景気変動の影響を受けやすいことから、予算編成段階では、なかなか的確な予算が困難な税目であります。

個人町民税は、6月の当初課税において前年を上回る調定となっております。ほぼ予算額どおりの決算となる見込みであります。

一方、法人町民税は、平成22年度決算で過去最高の収入額となったものの、23年度は1割弱の減少に転じるなど、不安定な状況が続いております。

わが国経済の先行きについて、専門家の多くが、震災後の復興需要に支えられて緩やかな回復基調が続くと予測しており、24年度の法人町民税においても、予算額は確保できるものと見ております。

次に、固定資産税及び都市計画税は、予算額を若干上回る見込

みであります。

その他の税目や国・県の支出金、その他の歳入につきましては、国の制度変更に伴う影響や景気動向による増減なども想定されますが、全体として、大きな不足を生じることはないと考えております。

一方、歳出におきましては、予算執行計画に沿って、おおむね順調に執行いたしております。

なお、普通建設事業については、可能な限り早期の執行に努めており、7月末までに、本年度実施予定工事47件のうち、53%に当たる25件の発注を行ったところであります。

次に、平成24年度の普通交付税の当初算定が終わりましたので、その結果をご報告申し上げます。

まず、基準財政収入額は66億1,029万8千円で、前年度比0.4%の減であります。

これに対し、基準財政需要額は60億3,394万円で、3.4%の増でありました。

この差額は5億7,635万8千円で、平成24年度単年度の財政力指数は1.096であります。

前年度の財政力指数1.137からは、0.041ポイント減少しておりますが、普通交付税は24年度も不交付となります。

ちなみに、全国1,719市町村のうち不交付団体は54で、前年度より4団体減っており、平成19年度の188団体をピークに5年連続の減少であります。

続きまして、各所管についてご報告を申し上げます。

始めに、総務部の関係であります。

まず、「地域公共交通」についてであります。

本年7月末で、コミュニティバスの試行運行開始から2年が経過を致しました。この間にご乗車いただいた人数は、6万712人

でありました。

なお、この7月の月間乗車人数は2,900人であり、無料体験乗車期間であった一昨年の8月・9月を除きますと、最も多い利用者数となりました。1日平均では94人、1便当たりでは4.3人あります。

また、市街化調整区域など、コミュニティバスでカバーできていないエリアにおいて、昨年9月から事前予約制の「乗合タクシー」をモデル的に5ルート設定して始めましたが、7月末までの10日月間で384人の利用がありました。

9月1日からは、更に4ルートの追加と1ルートの延伸をして、全部で9ルート、17停留所で運行しておりますので、議員各位におかれましても、ぜひ、住民の皆様へのPRにご協力いただければと思います。

次は、防災関係であります。

去る8月26日に実施した防災訓練では、全町民に参加を呼びかけまして、震度7の巨大地震発生とそれに伴う大津波の襲来という想定の下、町内全域で一時避難場所への避難訓練を行いました。

その後、自主防災会ごとの訓練や要援護者搬送訓練、「同時多発火災 対処訓練」、「災害時 協定締結事業者」等との情報通信連絡訓練、津波避難ビルへの避難体験などを実施し、防災意識の高揚と地域防災力の強化を図ったところであります。

当日は、残暑厳しい中、各区自主防災会を始め、消防団、防災関係機関、防災ボランティア、町内事業者、自衛隊、中学生など、総勢で3千人強の方々にご参加を頂きました。

また、役場においても、行政職全員と主任以上の保育士が参加しまして、防災計画や初動マニュアルに基づく各班・各職員の任務の再確認と実施、並びに問題点の洗い出しを行い、災害発生時に確実に機能する体制整備に努めました。

次は、防犯関係であります。

8月中旬に、名鉄知多武豊駅前の駐輪場に防犯カメラ2台を設置いたしました。この駐輪場では、例年、自転車の盗難が数多く発生しているところであります。

防犯カメラを設置し、その存在を広くPRすることにより、こうした自転車盗の抑止効果のみならず、駅前周辺の治安全体の向上にも寄与するものと考えております。

次は、厚生部の関係であります。

始めに住民基本台帳法改正の関係であります。

住民基本台帳法の改正により、本年7月9日から、外国人の方も住民基本台帳法の適用対象となり、日本人と同様に住民票が作成されました。

今回の改正にあたり、5月8日に外国人登録者に、氏名表示などを確認する仮住民票を送付しました。

そのうち、居住確認ができなかった外国人登録者、在留期限3ヵ月未満の滞在者など、69人が住民基本台帳法の適用対象外となりました。

この結果、8月1日現在の外国人は、632人となりました。

次に、特定健康診査の関係であります。

40歳以上の国保被保険者と、県の後期高齢者医療広域連合から委託を受けた、後期高齢者の被保険者を対象とした「特定健診」を、5月から8月にかけて実施いたしました。

7月末現在の実施状況は、国保加入被保険者を対象とした「特定健康診査」では対象者数8,183人に対し、受診者数4,127人で受診率は50.4%でありました。

また、後期高齢者医療被保険者を対象とした「健康診査」では、対象者数3,765人に対し受診者数1,881人、受診率50.0%でありました。

次に、高齢者の状況であります。

8月1日現在、本町の人口は4万2,657人で、そのうち65歳以上の高齢者数は8,854人、高齢化率は20.8%となり、昨年同期と比べ0.9%、395人の増加となりました。

敬老の日を迎えるにあたり、本町の男性の最高齢者は、明治45年生まれで数え101歳の方、女性の最高齢者は、明治43年生まれで数え103歳の方であります。

明日、9月4日に、最高齢の方及び数え100歳と90歳の方、合わせて64人に対しまして、町の関係者で敬老慰問を予定しております。

また、数え80歳と88歳の方、合わせて391人のうち、施設入所者を除く方々には、民生委員さんをお願いをし、敬老慰問を予定しております。

次に、介護保険事業の関係であります。

7月末現在の、要介護・要支援認定者総数は1,118人で、そのうち65歳以上の第1号被保険者が1,073人、65歳未満の第2号被保険者が45人です。

昨年同期の要介護・要支援認定者総数は1,069人で、49人の増加となっております。

第1号被保険者8,819人のうち12.2%の方が、要介護・要支援認定者です。

また、介護度別認定者数と、その割合につきましては、要支援1は124人で11.1%、要支援2は163人で14.6%、要介護1は259人で23.2%、要介護2は197人で17.6%、要介護3は141人で12.6%、要介護4は153人で13.7%、要介護5は81人で7.2%です。

次に、介護予防事業の「憩いのサロン」です。

本年6月に、新たに「小迎会場」を開所いたしました。

8月21日には、第3回のサロンが開催され、順調なスタートを

切ることができました。

また、新たに開所予定の「中山会場」につきましては、7月18日に「地区説明会」を、8月29日には「第1回準備会」を開催いたしました。

区民の皆様のご関心も大変高く、こちらでも順調に準備作業が進んでおり、11月に開所予定となりました。

各区の関係者やボランティアの皆様には、改めて感謝申し上げます。

次に、子育て関係であります。

まず、児童手当の関係であります。

本年4月分から、新しい「児童手当制度」が始まりました。

6月29日までに、児童手当現況届けを提出していただき、現在審査中にあります。

次に、今年4月から北中根保育園を始めました、土曜日19時までの延長保育事業であります。

9月1日土曜日の申込状況は、合計16人です。

13時から16時までが9人、13時から19時までが7人です。

次に、環境に関する事業であります。

まず、震災ガレキの関係であります。

8月23日に、愛知県知事から、「東日本大震災により発生したガレキの受入れを進めることにはならない」旨の、発表がなされました。

本町と致しましては、今後も、「住民の安全・安心」を第一に、適切な判断をしてまいりたいと、考えております。

また、未だに被災地の復興には、多くの支援が必要とされております。

現在も、本町から、宮城県松島町へ職員の派遣を致しておりますが、今後も、出来る範囲で、復興に向けた支援を心がけて参り

たいと思っております。

次に、「住宅用 高効率給湯器 設置費補助」につきましては、8月14日現在で、70件、「住宅用 太陽光発電 設置費補助」は、60件の申し込みをいただいております。

自然エネルギーへの関心の高まりから、「住宅用 太陽光発電設置費補助」の申し込みが伸びており、本議会にも、増額の補正予算案を上程させていただいております。

また、環境啓発活動の一環として、小学生とその保護者、合わせて40人の参加を得て、8月21日に「環境学習会」を実施いたしました。

今年は、東海市の飲料メーカーの工場と、長久手市のトヨタ博物館の見学を行い、資源回収の意義を身近に感じる、よい機会となりました。

また、今年も、環境に少しでも、関心を持っていただけるように「リユースパーク」を、10月7日に開催いたします

多くの方々に、出品や、ご参加いただければと考えております。

次に、保健事業の関係であります。

前期の各種がん検診につきましては、胃がん516人、大腸がん847人、前立腺がん173人、肺がん2,030人、乳がん703人、子宮頸がん579人、延べ4,848人の方々に受診いただきました。

これらの受診者のうち、検診結果に何らかの問題が見受けられる方につきましては、保健師が検診データの説明と共に、医療機関へのご案内を行っております。

次に予防接種事業の関係であります。

「ポリオの予防接種」につきましては、町医師会との協議の上、今月より「生ワクチン」から「不活化ワクチン」の接種に移行しております。

また、高齢者の「肺炎球菌ワクチン」接種の助成につきましては、本議会に補正予算を上程させていただいており、ご可決いた

できれば、10月中旬からを目途に、実施したいと考えております。

次は、産業建設部の関係であります。

始めに衣浦港港湾計画についてであります。

第3回「衣浦港港湾計画 検討委員会」が8月20日に開催され、衣浦港の将来の姿及び、それを実現するために必要な施策について、検討がなされました。

また、県民から衣浦港長期構想に関する意見を幅広く聞くため、パブリックコメントの準備を行なっているところであります。

次に、やすらぎの森墓園の二期工事は、計画通り工期内に完了し、8月1日から使用開始をしております。今年度は、最終的に66区画の申込みがありました。

引き続き、施設の適正な管理、運営をすすめてまいります。

次に、下水道関係であります。

農業集落排水事業特別会計は、今年度も引き続き2箇所の浄化センター及び管路等の施設の適正な維持管理を行っております。

次に、下水道事業特別会計であります。

今年度の工事の進捗状況であります。公共下水道の雨水整備は昨年に引き続き上ヶ排水区での浸水対策として、市場地区で「雨水管渠 整備工事」を進める予定であります。

次は、水道事業会計であります。

まず、今年の水需要の状況であります。

震災の影響による節約志向を反映して、落ち込んでおりました水需要が今年度に入り、昨年度比の1パーセント強の増と好転の兆しが見られるものの、まだまだ、厳しい状況で、今後も注視していかなければならないと考えております。

水道工事は、県道や町道の改良事業に伴う布設替工事を始め、今年度より砂川、鹿ノ子田地区で国の補助金を受け、基幹管路の更新、耐震化工事を進めております。

次は、教育委員会の関係であります。

まず、学校教育の関係であります。

今年度より小学校5年生の林間学校につきましては、「愛知県野外教育センター」での実施となりました。6月23日を皮切りに4小学校とも無事に終了し、楽しい思い出をつくることができたものと思っております。

次に、中学生の各種部活動の大会であります。

夏休み期間中に各種部活動の大会が行われ、新体操男子団体、陸上競技の女子砲丸投げ・男子走り高跳び、卓球女子団体については、東海大会に出場しております。

また、全国大会へは、陸上競技の女子砲丸投げと男子走り高跳びに出場いたしました。

次に、中学生の海外派遣事業であります。

オーストラリアケアンズへ8月16日から24日までの9日間の日程で実施いたしました。

参加生徒12名は、ホームステイ先の温かいお迎えをいただき、大きな成果を持って全員元気に帰ってまいりました。

小学生の海外派遣事業は、今年度は、隔年で韓国を訪問する年で、町内全小学校から22名の児童が8月22日から3日間「大光初等学校」を訪問して交流を図り、全員無事に帰ってまいりました。

次に、「富貴小学校屋内運動場耐震改築工事」の関係であります。本体の躯体工事及び外装工事がほぼ完了し、現在、内装工事に着手しており、10月末の完成に向け、順調に進んでおります。

また、熱中症対策として、小学校へ扇風機の設置及び特別支援学級のエアコン設置につきましては、夏休み期間中に設置が完了いたしております。

次は、歴史民俗資料館の関係であります。

壱町田湿地の一般公開にあたっては、「湿地を守る会」の会員を始め、小中学生や指導教員など、多くのボランティアの皆さんのご協力を頂き、7月22日から9月2日までの期間延べ5日間の一般公開を行い、見学者数は793名でありました。

次は、出土品の関係であります。

山崎古墳の出土品並びに中田池古窯の出土品につきましては、6月20日付で町指定文化財に指定し、7月1日号の広報で町民の皆様にお知らせをしております。

また、歴史民俗資料館2階の常設展示場で7月1日から9月30日まで出土品の公開展示をしております。

次に、長尾城跡<sup>あと</sup>の発掘調査についてであります。

この発掘調査につきましては、5月中旬より本調査に入り9月7日までに現地調査を完了する予定であります。

議員各位には、去る8月29日に発掘現場の見学をいただき、室町、戦国期の岩田氏の居城の規模が想像できたかと思っております。

現在は出土品からの歴史調査や、資料の整理を行い、平成25年3月15日までに発掘調査報告書にまとめる準備をしております。

次に町民会館の関係です。

8月19日町民会館におきまして「出張！なんでも鑑定団 in たけとよ」のテレビ収録が行われました。

当日の鑑定品は、焼き物が2点、掛け軸が2点、絵画と版画で2点の計6点が紹介され、約2時間で鑑定が行われました。

なお、当日の鑑定士は、焼き物で有名な中島誠之助<sup>なかじませいのすけ</sup>さんを始め3人の先生方にお越しをいただきました。

放映予定は、テレビ愛知で10月2日火曜日午後8時55分となって尾ります。番組の中で武豊町の紹介もありますので、是非ご覧いただきたいと思っております。

次に、去る7月21日土曜日に防災コンサートとして「避難訓練コンサート」を実施しました。

このコンサートは、不特定多数が集まる公共ホールにおいて、通常の防災訓練、避難訓練とは別に、公演中に地震による災害が発生したときの対応として、観客が混乱することなく非難ができるよう、訓練することを目的として実施を致しました。

140名の観客が参加し、訓練終了後は再び客席に戻り、コンサートを再開しました。

今後もこのような訓練を定期的実施をしてみたいと思っております。

最後に、9月1日、武豊町文化協会の設立50周年を迎え、多くの観客にお越しを頂き、記念式典のあと、アトラクションとして講談師の「神田 紫」さんによる読み聞かせで「はやぶさ帰還物

語」と講談「<sup>かんすけしま</sup>勘助島の由来」を披露していただき、盛大に周年事業をお祝いすることが出来ました。

以上をもちまして、諸般報告とさせていただきます。

よろしくお願いを致します。